

土砂災害

への備え

土砂災害が発生しやすいときとは？

土砂災害は土壌雨量指数（降った雨がどれだけ土壌にたまっているのか指数化したもの）が高くなるほど、発生のおそれが高くなります。

狭い地域に激しい雨が数時間にわたって降り続く「集中豪雨」や局地的に数百ミリの雨量となる「記録的短時間大雨情報」が継続して発表されるときは危険性が高まります。特に、土砂災害発生のおそれが高まったときには「土砂災害警戒情報」が県と岐阜地方気象台共同で発表されます。

土砂災害から身を守るための

3つのポイント

1 地域の危険箇所を把握

ハザードマップなどを確認して、普段から危険箇所を把握しましょう。
※ハザードマップは市ホームページから地区ごとに見ることができます。



2 早めに情報を収集

市や報道機関から発表される情報に注意して、屋外の様子にも気を配りましょう。

3 早めの避難

いつ避難すると良いのか、避難場所への安全な道順や持ち物などを確認し、暗くならないうちに、早めに避難しましょう。



避難行動判定フロー

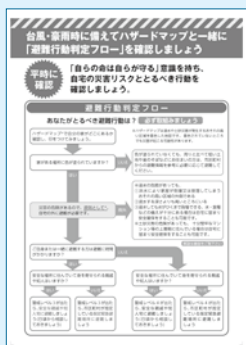
（内閣府作成）について

「自分の命は自らが守る」そのためには、平時からの備えが重要です。ハザードマップを確認する際には、「避難行動判定フロー」と共にご確認ください。

「避難」とは「難」を「避」けることです。自宅付近がハザードマップの危険区域に該当していない場合には自宅での避難、該当している場合には可能な限り、安全な場所にある親戚・知人宅も避難先として検討してください。

万が一に備え、合わせて確認しましょう！

▼避難行動判定フロー



▼土砂災害ハザードマップ



避難行動判定フロー



インターネットで「避難行動判定フロー」を検索するか、危機管理課までお問い合わせください。☎ 24-2222（内線 271）


警戒レベルと避難情報について


平成30年7月豪雨災害を受け、国は新たに警戒レベルを用いた避難情報の運用を開始しました。下呂市においても警戒レベルを用い、避難情報（避難勧告など）と市民がとるべき行動を関連付けて運用していきます。警戒レベルに応じて自身がとるべき行動を確認し、災害に備えましょう。

【危機管理課】


警戒レベルに対応する避難情報の見方ととるべき行動

警戒レベル	避難情報	根拠情報など	市民のとるべき行動
高 5	災害発生 	土石流・地すべり・がけ崩れ 堤防決壊・越水・内水氾濫の 発生 など	命を守るための最善の行動
	避難勧告 ----- 避難指示（緊急） 	記録的短時間大雨情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報・特別警戒 土砂災害の前兆現象の発生 など	全ての人は避難 指定緊急避難場所への移動がかえって危険な場合は近くの安全な親戚、知人宅や自宅の上階、山や谷から離れた部屋などへ移動
3	避難準備 高齢者等避難開始	警戒（大雨・洪水） 氾濫注意情報 避難判断水位超過 など	高齢者など避難に時間を要する人は避難 その他の人は避難の準備 (危険だと感じる場合は避難)
2	—	大雨に関する気象情報	メディアなどで情報把握 自身の避難行動を確認し災害への心構えを高める
低 1	—	注意報（大雨・洪水）	



 災害の情報をいち早くお知らせ
「Yahoo!防災アプリ」をご活用ください!


エリア拡大中
自治体からの緊急情報

下呂市では、「Yahoo!防災速報」を活用した防災情報の配信をしています。大切な人の身の安全を守るためにぜひ、お役立てください。



下呂市内に設置されている雨量計や水位計などの情報をスマートフォンなどで確認することが出来ます。インターネットで「下呂市 一元化」を検索していただければ、サイトにアクセス出来ます。また、下記のQRコードからもアクセス出来ますので、ぜひご活用ください。



下呂市雨量・水位一元化
 サイトのご案内